

従業員向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	
	2	職員の配置数は適切であるか。	6	1	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	5	2	視覚支援による情報伝達の必要性があるので環境構成を改善していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	アルバイト職員の会議の参加率を上げるようタイムマネジメントを見直していく必要がある。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	0	7	今年度の自己評価が初回になるので、継続して保護者評価を受けつつ、業務改善を心がけていきたい。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	0	7	上記に加え、ホームページでの公開を行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者の外部評価が今後の課題である。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか。	3	4	今後、月に2回職員の全体研修の時間を設け、資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	7	0	
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6	1	個々の個別支援計画をアルバイト職員含め全職員で確認する時間の確保が課題である。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	個別活動の内容の精査、時間割等のこまめな打ち合わせが必要である。

関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	0	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	翌日の朝礼時に確認することが多いため、終礼時間の確保が課題である。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	7	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5	2	相談支援所等の関連機関との連携が少なく、支援内容の細かな部分の連携が必要と思われる。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	5	2	今後の課題である。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	0	7	現状医療的ケア児や重症心身障害のある児童の受け入れを行っていない為、今後必要に応じて連絡体制の構築が必要である。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	0	7	現状医療的ケア児や重症心身障害のある児童の受け入れを行っていない為、今後必要に応じて連絡体制の構築が必要である。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	今後の課題である。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	2	豊中市通所支援事業者連絡会に入会しているが、研修に参加できる職員の数や時間の確保が課題である。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	0	7	今後の課題である。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	2	豊中市通所支援事業者連絡会に入会しているが、研修に参加できる職員の数や時間の確保が課題である。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	0	7	ペアレントトレーニングは、今後職員間でどのように行っていくのか話し合う必要がある。家族参加イベントに関しても考えていきたい。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	

保護者への説明等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0	7	父母の会は発足しておらず、交流はないが、保護者がどの程度必要と感じているか把握する必要がある。兄弟児に関しては、利用者と一緒に参加できるイベント等も考えていきたい。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	7	0	
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	今後の課題である。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	避難訓練の実施はあるが、その他マニュアルの共有を深めていく必要がある。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	6	1	ヒヤリハットの記録と分析なども職員間で共有する必要がある。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	